算数科学習指導案

２０１４年７月１日６限目

第５学年２組（３４名）

指導者　山中　時代

(1)５年生の児童の課題

　☆自分の考えや思いを持つことが難しい。

　☆自分の考えや思いを伝えることが苦手である。

　☆人の話をしっかり聴くことができない。

(2)課題を解決するために

　★問題解決的な授業を多く取り入れることで、自分の考えを持ち、自信を持って人に伝えることがで

　　きるようにする。

　★考えを共有する場を通して、友だちの考えをしっかり聴くことができるようにする。

　★指示を待つのではなく、自分から考えて進んで行動できるような場や状況を設定していく。

(3)単元名「形も大きさも同じ図形を調べよう」教科書P.６０～６９

(4)単元のねらい

　○図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、合同な図形を書くことを通して、平面

　　図形についての理解を深める。

　○合同な図形において、その意味や性質について自分の考えを持ち、伝えることができる。

(5)研究主題との関わり

　研究テーマ「自分の言葉で伝えられる子どもを育てる」、サブテーマ『自分の考えを持ち、共有の場を大切にする算数科を生かして』という研究主題に迫るために、問題解決的授業を積極的に取り入れることで、テーマに迫る事が出来ると考えた。具体的には、

①児童一人一人が考える場

　　今までの学習や経験を思い出し、問題を解く方法を考える。（見通しをもつ）

　②児童一人一人が解決する場

　　自分の考えた方法で、問題を解く。（自力解決する）

　③自分の考えを伝え合う場

　　　グループやクラス全体に自分の解いた方法を伝える。友だちの考えを聴いて、付けたしや質問など

　　　をする。（共有し合う）

　　④考えを深める場

　　　友だちの方法を聴き、より**か**んたんに、より**わ**かりやすく、**い**つでも使える**い**い方法を考える。

　　　（**かわいい**方法を見つける）

　(6)指導計画（全９時間）

第１次

　第１時　「合同」の意味について理解する。（４時間）

　・形や大きさが同じ三角形を、辺や角度を測ったり、折ったり切ったり、裏返したりすることで見つ

　　ける。

　・「合同」の意味を理解する。（ぴったり重ね合わすことのできる２つの図形は合同である）

　・２つの図形が合同な四角形であることを説明する。（本時）

　・対応する頂点、辺、角について調べる。

　第2時　合同な三角形や平行四辺形をかく。（３時間）

　・三角形の構成要素に着目して、合同な三角形をかく。

　・合同な三角形の書き方から、合同な平行四辺形をかく。

第2次

　第1時　学習のまとめをする。（2時間）

　・学習内容の理解を確かめる。

　・学習内容の定着を確かめる。

(７)本時のねらい

○前時の学習（合同の意味を知る）を生かして、二つの四角形が合同であるということを説明する。

○自分の考えた方法をグループの友だちに伝える。

(８)本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 時間 |
| １．前時の学習をふり返る。  ２．今日の課題を知る。  ２つの四角形が合同であるということを説明しよう。  ３．見通しを立てる。  （辺の長さ、角度、切って重ねる、写して重ねる）  ４．自力解決をする。  ５．グループの中で考えを伝え合う。  ６．各グループで出た考えを発表する。  　（1から2グループ） | ・合同の意味を思い出させる。  ・今までの学習で考えた方法を思い出させる。  ・四角形を印刷したものを用意し、自力解決の支援をする。  ・一つの解決法が見つかったら、次の解決法を考える。  ・自分の言葉で考えを説明させる。  ・友だちの考えと自分の考えを比べながら聴くようにさせる。  ・わかりやすい考え（**か**んたん・**わ**かりやすい・**い**つでも使える・**い**い考え）を発見させる。  ・クラス全体に紹介する考えをまとめる。 | ２  ３  ５  １５  １５  ５ |

(9)評価の観点

・一人一人が自力解決できているか。

・自分の言葉で考えを伝えることができているか。